

# 自治会ハンドブック

自治会運営などのお役に



福知山城

平成29年

福知山市自治会長運営委員連絡協議会

## 目 次

### 1 自治会について

(1) 自治会の活動	1
(2) 自治会の組織	3
(3) 自治会の会議	4
(4) 自治会の規約(会則)	5
(5) 自治会の予算と決算	8
(6) 自治会への加入促進	10
(7) これからの自治会	12
(8) 各自治会の課題と福知山市及び社会福祉協議会の担当部署	14
(9) 自治会活動保険制度について	15
(10) 地域の課題や自治会運営について	15

### 2 自治会長会等の組織について

(1) 自治会長とは	16
(2) 各学区自治会長会(自治連合会)とは	16
(3) 福知山市自治会長会とは	16
(4) 自治会長運営委員会とは	16
(5) 自治会長運営委員連絡協議会とは	16



# 1 自治会について

自治会とは、地域に住む一人ひとりが、自分たちの地域のことを考え、お互いに協力し合い、住みよい地域社会を形成するために、自主的に組織された任意の団体です。親睦行事などを通じて、住民同士が交流を深めたり、地域の生活環境の向上に取り組むなど、様々な活動をされています。

## (1) 自治会の活動

私たちの周りには、ごみステーションの管理などの環境問題から、地域防災、生活安全など様々な地域課題がありますが、これらの課題の多くは個人や家庭では解決できないものです。

こうした地域共通の様々な課題の解決に向けて取り組む組織、それが自治会です。

例えば、以下のような活動も自治会が中心になって取り組んでおられます。

### ■地域住民の親睦

旅行・運動会等の実施、集会所(自治会館)の維持管理、冠婚葬祭、広報活動など



### ■安全対策の推進

交通安全、防災・防犯組織の育成、防犯灯の維持管理など





## ■社会福祉の推進

青少年の健全育成と見守り、敬老会の開催、高齢者・障害者への福祉活動など



## ■環境美化衛生の推進

道路・側溝・公園等の清掃、ごみ収集場所の維持管理、花壇づくりなど



## ■伝統行事の育成

祭り、盆踊り、伝統行事の保存・継承など

## ■行政からの文書等配布

市広報、府広報、関係所管課等からの文書の配布・回覧・周知業務など

## ■行政に対しての要望等の調整

住民の声を調整し、行政に要望することなど

### ■各種団体との連携

他の自治会、老人クラブ・婦人会・子ども会等の他団体との協調など

### ■総会等の開催

適切な事業計画、明朗適正な財政管理など

## (2) 自治会の組織

自治会として目的を持って活動していくためには、その活動を支えるための組織が必要になります。また、組織を効率的に動かすためには、会長をはじめとして会をまとめていく役員の役割が重要になってきます。

一般的な例としては、以下のような役員が置かれています。

### ■会長

会をまとめていく最高責任者として、また、対外的には会の意思を伝える代表者としての役割があります。

### ■副会長

会長を補佐し、時には会長の役割を代行する責任があります。

### ■監事

会の目的を正しく理解していると同時に、会計事務が適切に処理されているかどうか、財政支出が適切であるかどうかを評価し、総会で報告します。

### ■その他の役員

会計、理事のほか、専門部会を設けた場合には専門部長などの役員を置く場合もあります。また、顧問や相談役といった役員を置く自治会もあります。

### (3) 自治会の会議



自治会が民主的な組織として運営されるために、会員の合意形成の場としての総会や総会での議決にしたがって自治会を運営していく役員会などが開催されます。

#### ■総会

総会は自治会としての意思決定を行う最も重要な役割を担うものであり、定期総会や臨時総会などがあります。

定期総会は、一年間の事業・決算報告や新年度の事業・予算について意見交換する場であり、会員が参加しやすい運営方法が求められます。

臨時総会は、役員会などでは解決できない緊急の課題が発生した際など、必要に応じて招集されます。招集方法については、会則に定めておく必要があります。

#### ■役員会

総会の議決に従って、実際に自治会を運営していくための会議です。役員会の構成や招集方法は、あらかじめ会則で定めておく必要があります。

#### ■会計監査

会計監査は、会計帳簿、領収証などの帳票類、預金通帳、決算書の監査を行います。収支について適切に処理されているかどうか、関係書類を照合しながら、役員会や総会に報告される決算書の内容について事実確認を行います。



## (4) 自治会の規約(会則)

規約(会則)は、地域における共同生活のルールと言えます。自治会の事業内容や予算の規模等、それぞれの自治会の実情に合ったものが必要となります。

「何のために」、「誰が」、「どのように」活動するのか、「意思決定の方法」などを文書化することで、会の方針や活動内容を会員に分かりやすく知らせることが出来ます。

特に引越しなどで新たに加入されようとする住民は、どのような自治会なのかが分かると、安心して加入することが出来ると思われれます。

### 【自治会の規約(会則)の一般例】

〇〇会規約		制定 平成〇年〇月〇日
		最近改正 平成〇年〇月〇日
<p>第1章 総則</p> <p>(名称及び事務所)</p> <p>第1条 本会は〇〇会(以下「本会」という。)と称し、事務所を福知山市〇〇町〇番〇号に置く。</p> <p>【参考】「事務所を会長宅に置く。」とすることも可能です。</p> <p>(区域)</p> <p>第2条 本会の区域は、福知山市〇〇町の区域とする。</p> <p>(会員)</p> <p>第3条 本会の会員は、第2条に定める区域に住所を有する世帯をもって構成する。</p> <p>2 本会へ入会及び退会しようとする者は、会長に届け出るものとする。</p> <p>3 本会へ入会及び退会の届け出があったときは、正当な理由なくこれを拒んではならない。</p> <p>(目的)</p> <p>第4条 本会は、会員相互の親睦及び福祉の増進を図り、地域課題の解決等に取り組むことにより、住みよい地域社会の形成に資することを目的とする。</p> <p>(事業)</p> <p>第5条 本会は、第4条の目的を達成するため、次の事業を行う。</p> <p>(1) 会員相互の親睦に関する事。</p> <p>(2) 清掃、美化等の環境整備に関する事。</p> <p>(3) 防災、防火、交通安全に関する事。</p> <p>(4) 住民相互の連絡、広報に関する事。</p> <p>(5) 〇〇会館の維持管理に関する事。</p> <p>(6) ……</p> <p>第2章 役員</p> <p>(役員の種別)</p> <p>第6条 本会に、次の役員を置く。</p> <p>(1) 会長 1名 (2) 副会長 〇名 (3) 会計 〇名 (4) 〇〇部長 〇名 (5) 班長(組長) 各組1名 (6) 監事 〇名</p> <p>【参考】部長、班長等は、会の規模等の必要に応じて設置してください。</p> <p>(役員の選任)</p> <p>第7条 会長、副会長、会計及び監事は、総会において、会員の中から選任する。</p> <p>2 部長は、会員の中から、会長が委嘱する。</p> <p>3 班長は、各班の会員の中から、互選により選出する。</p> <p>4 監事は、会長、副会長及びその他の役員と兼ねることはできない。</p> <p>第8条 役員は、次の職務を行う。</p> <p>(1) 会長は、本会を代表し、会務を総括する。</p>		

- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- (3) 会計は、本会の会計事務を処理する。
- (4) 部長は、会長の命を受けて、会務を分担する。(例：総務担当、広報担当、環境整備担当、防犯担当、交通安全担当、福祉担当、青少年担当、会館担当等)
- (5) 班長は、会員との連絡調整にあたる。
- (6) 監事は、本会の会計事務及び業務執行について監査を行い、毎年定期総会に報告する。会計事務及び業務執行について不正の事実を発見したときは、総会に報告することとし、報告のために必要があると認めるときは、臨時総会の開催を請求する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は、○年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の解任)

第10条 役員が、規約に違反したとき又は本会の名誉を傷つける行為をしたときは、総会の議決により解任することができる。

### 第3章 総会

(総会の構成)

第11条 総会は、全会員をもって構成する。

(総会の種別)

第12条 総会は、定期総会及び臨時総会とする。

2 定期総会は、毎年○月に開催する。

3 臨時総会は、会長が必要と認めたとき、全会員の○分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求があったとき及び第8条第6号の規定により監事から請求があったときに開催する。

(総会の招集)

第13条 総会は、会長が招集する。

2 総会を招集するときは、会員に対し、会議の目的、内容、日時及び場所を示して、会議の○日前までに通知しなければならない。

(総会の審議事項)

第14条 総会は、次の事項を審議し、議決する。

- (1) 事業計画及び事業報告に関する事項
- (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) 役員の選任及び解任に関する事項
- (4) 規約の変更に関する事項
- (5) ……
- (6) その他の重要事項

(総会の議長)

第15条 総会の議長は、その総会に出席した会員の中から選任する。

【参考】「総会の議長は、会長とする。」とすることも可能です。

(総会の定足数)

第16条 総会は、全会員の2分の1以上の出席がなければ開催することができない。ただし、委任状を提出した会員は、出席者とみなすものとする。

(総会の議決)

第17条 総会の議事は、出席した会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(総会の議事録)

第18条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 会員の現在数及び出席者数(委任状を提出した会員を含む。)
- (3) 開催目的、審議事項及び議決事項
- (4) 議事の経過の概要及びその結果
- (5) ……

2 議事録には、議長及びその総会において選任された議事録署名人○名以上の署名押印をしなければならない。



#### 第4章 役員会

(役員会の構成)

第19条 役員会は、役員（監事を除く。）をもって構成する。

(役員会の招集)

第20条 役員会は、会長が必要と認めたときに招集する。

(役員会の審議事項)

第21条 役員会は、会長が議長となり、次の事項を審議し、議決する。

(1) 総会に付議すべき事項

(2) 総会において議決された事項の執行に関する事項

(3) ……

(4) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

#### 第5章 会計

(経費)

第22条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。

(会費)

第23条 本会の会費は、1世帯あたり月額〇円とする。

(会計年度)

第24条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

#### 第6章 雑則

(委任)

第25条 この規約に定めるもののほか必要な事項は、総会又は役員会の議決を経て、別に会長が定める。

附 則

この規約は、平成〇年〇月〇日から施行する。

※この規約は、あくまでも一般的な例です。地方自治法の規定による認可地縁団体等の法人格を取得するための規約の要件を満たしているものではありません。



大江山雲海

## (5) 自治会の予算と決算

自治会は、会員の大切なお金を預かって運営されています。予算で年間の事業を示し、決算でその使途を明らかにします。また、予算書・決算書は誰が見てもすぐ分かるように、しかも正確に作る必要があります。

### 【自治会の予算書・決算書の一般例】

平成〇〇年度 △△自治会予算書

【収入の部】（単位：円）				
科目	本年度(A)	前年度(B)	比較(A)-(B)	説明
会費				〇円×〇世帯×12ヵ月
交付金・補助金				市等
自治会館使用料				
寄付金				〇〇より〇円
雑収入				預金利息等
前年度繰越金				
合計				
【支出の部】（単位：円）				
科目	本年度(A)	前年度(B)	比較(A)-(B)	説明
事業費				
体育部費				運動会〇円
文化部費				お祭り〇円
環境衛生部費				清掃活動〇円
防犯部費				防犯灯〇ヵ所〇円
福祉部費				いきいきサロン〇円
運営費				
消耗品費				事務用品〇円
通信運搬費				郵便料〇円、電話代〇円
会議費				総会〇円、役員会〇円
旅費				〇〇会議出席
公民館管理費				
備品費				パソコン〇円
慶弔費				香典
予備費				
合計				

## 平成〇〇年度 △△自治会決算書

【収入の部】（単位：円）				
科目	本年度(A)	前年度(B)	比較(A)-(B)	説明
会費				〇円×〇世帯×12 ヵ月
交付金・補助金				市等
自治会館使用料				
寄付金				〇〇より〇円
雑収入				預金利息等
前年度繰越金				
合計				
【支出の部】（単位：円）				
科目	本年度(A)	前年度(B)	比較(A)-(B)	説明
事業費				
体育部費				運動会〇円
文化部費				お祭り〇円
環境衛生部費				清掃活動〇円
防犯部費				防犯灯〇ヵ所〇円
福祉部費				いきいきサロン〇円
運営費				
消耗品費				事務用品〇円
通信運搬費				郵便料〇円、電話代〇円
会議費				総会〇円、役員会〇円
旅費				〇〇会議出席
公民館管理費				
備品費				パソコン〇円
慶弔費				香典
予備費				
合計				

(収入合計) (支出合計) (次年度繰越金)  
 〇〇〇〇円 - △△△△円 = □□□□円

## 会 計 監 査 報 告 書

平成〇〇年度 △△自治会の帳簿、通帳、証拠書類などについて詳細に監査した結果、諸帳簿、領収証等は正確に記録、整理されており、収支とも適正に執行されていることを認め、ここに報告します。

平成〇〇年〇月〇日

監 事 〇 〇 〇 〇 印

## (6) 自治会への加入促進



地域内での生活の基礎となる自治会へ加入しない人や、会員であっても自治会の活動には参加していない人がいます。自治会は、住民が日頃から団結し、協力し合って住みよい地域社会をつくるために地域の課題に取り組む団体です。自治会の活動を活性化するためには、一人でも多くの住民が自治会に加入し、つながりをつくることが大切です。

### ■個々の家庭の事情に合わせた加入促進の取り組みを

引っ越してきて間もない世帯と、以前から住んでいながら自治会に加入していない世帯とでは、自治会に加入していない点では同じですが、それぞれへのアプローチの仕方は異なってきます。一律の加入促進活動を行うのではなく、できる限り個々の家庭の事情に合せた取り組みを行いながら、自治会への加入を促しましょう。

### ■加入しやすい雰囲気を作ろう

未加入者に地域で一緒に活動することを理解してもらえるように、笑顔であいさつをするなど親しみやすい声かけをし、未加入者の加入への抵抗感を少しでも取り除くよう心がけましょう。

### ■戸別訪問をしよう

相手に話を聞いてもらえそうな曜日や時間帯を考えて、工夫して訪問しましょう。日時を変えて訪問しても、なかなかお会いできない方には、いつ訪問したかを記した丁寧な勧誘文書をポストに入れ、後日訪問するなどしてみましょう。

加入の案内をするときは、総会資料や規約など自治会の様子が分かるものを持参し、自治会が地域で果たしている役割や活動内容を未加入者に理解してもらえるように話しましょう。お祭りなどの楽しめる交流行事などから参加してもらい、加入につなげるのも一案です。

### ■新しい住民には、入居後すぐに加入への声かけを

自治会への加入をどうしたらよいか分からない方もあります。自治会から勧誘がなかったの

で、自治会に入らなかったという場合もあります。加入申し込みがあるのを待っていては、加入世帯数は増えません。入居後、間をおかずに訪問して、加入への呼びかけをしましょう。

引っ越してこられたばかりの世帯に、いきなり自治会加入のご案内文書がポストに入っていると、住民の方の感情を損ねることもありますので、まずは会ってお話をするようにしましょう。

引っ越してこられた方は、新しい地域に住むことへの期待や不安があるでしょう。慣れない地域での細々とした生活の相談にのり、少しでも不安を解消し、またスムーズに地域に溶け込めるよう手助けをしましょう。

そうして信頼関係を築いていくことが、自治会への加入にもつながります。

#### ■以前から未加入の世帯に対して

以前から未加入の世帯には、何らかの理由があると思われます。

そもそも自治会の存在自体を知らない、どこに連絡したらよいか分からない、勧誘がないから入っていない、といった場合もあります。

共働きの若い夫婦だけの世帯、小さい子どものいる世帯、単身世帯、老夫婦の世帯、二世帯同居など、世帯の状況はまちまちです。

子育て世代や高齢者のいる家庭では、事情により配慮が必要な場合があります。例えば子育て世代であれば、業務量の多い役職につかないようにしたり、足腰の弱い高齢者であれば、負担のかかる活動への参加は配慮するなど、柔軟な対応を検討しましょう。

#### ■集合住宅や宅地開発される区域では、建設前から業者へ協力依頼を

集合住宅の建設や宅地開発がある場合、建設前に開発業者への働きかけを行うことが重要です。建設を知ったら、速やかに開発業者を訪問し、入居者の自治会加入について協力をお願いしてみましょう。

集合住宅には地域外から引っ越してくる方が多く、地域活動への関心が低かったり、抵抗を感じる方もいます。集合住宅の建設前から施工主や管理者に自治会加入促進の協力を依頼すると効果的です。

開発業者に協力してもらうためには、建設前に開発業者との信頼関係を築いていくことが大



切です。関係が深まれば、積極的に入居者に加入を勧めてもらえたり、加入の窓口になってもらえたりします。開発業者に自治会等の周知と加入を取りまとめてもらうと戸別に加入を呼びかける必要がなくなり、加入も進みます。

建設後は、集合住宅であれば、家主、管理組合などの代表者に取りまとめを依頼してみましよう。宅地開発の場合は、入居後間をおかずに戸別訪問しましょう。



大原の産屋

## (7) これからの自治会

自治会は、地域住民の生活に密着した様々な活動を行っています。

活動の内容は、自治会の規模や世帯構成など、地域の状況により異なりますが、自分たちの住む地域の環境が、美しく、静かで、安全であってほしいと願わない人はいないでしょう。

一方、私たちが安全に安心して暮らしていくためには、不審者対策、高齢者の見守り、環境美化など、たくさんの課題が山積みとなっています。



これらの課題は、行政だけでは乗り越えることが出来ません。同じ地域に住んでいる者同士が協力し合い、知恵を出し合って取り組むことが重要であり、そのためには、住民にとって最も身近な住民自治組織である自治会が大きな役割を果たしていかなければなりません。

また、自分たちの自治会だけでは解決できないことでも隣の自治会や自治会連合会、コミュニティ推進組織と協力することで解決できるかもしれません。

これからも、一人ひとりが住み慣れた地域で、いつまでも笑顔で生き生きと暮らしていくために、住民の役割、自治会の役割、行政の役割を一緒になって考え、一丸となって取り組んでいく必要があります。



夜久野玄武岩公園

## (8) 各自治会の課題と福知山市及び社会福祉協議会の担当部署

・自治会組織把握等のために、お手数ですが次の場合には、福知山市総務部総務課に届出又は報告をお願いします。

総務部総務課 0773-24-7036

① 自治会の新規設立・解散・合併の場合

② 自治会長の就任・変更の場合

自治会の法人化について 総務部総務課 0773-24-7036

自治会の回覧板などについて 総務部総務課 0773-24-7036

自治会への補助や支援について 地域振興部まちづくり観光課 0773-24-7033

まちづくりの相談について 地域振興部まちづくり観光課 0773-24-7033

集会所の新設等について 地域振興部まちづくり観光課 0773-24-7033

防犯灯の設置などについて 土木建設部土木課 0773-24-7059

市道の新設・修繕などについて 土木建設部土木課 0773-24-7059

市道の除雪について 土木建設部土木課 0773-24-7059

河川の管理や清掃について 土木建設部土木課 0773-24-7059

都市公園について 土木建設部都市計画課 0773-24-7052

有害鳥獣対策・林道・治山などについて 農林商工部農林業振興課 0773-24-7047

農業水路・農道・ため池などについて 農林商工部農林管理課 0773-24-7041

災害・防災について 総務部危機管理室 0773-24-7503

地域防災計画について 総務部危機管理室 0773-24-7503

自主防災組織の設置などについて 総務部危機管理室 0773-24-7503

自治会清掃活動などについて 市民人権環境部環境政策室 0773-24-7070

不法投棄・ごみの収集などについて 市民人権環境部環境政策室 0773-24-7070

消防設備の新設・修繕について 消防本部総務課 0773-24-0119

地域の敬老会の開催支援について 福祉部保健部高齢者福祉課 0773-24-7073

民生委員・児童委員などについて 福祉保健部地域医療課 0773-24-7087

文化財の保全等について 教育委員会事務局生涯学習課 0773-24-7065

上・下水道施設の漏水や陥没について

上下水道部お客様サービス課 0773-22-6500

上・下水道の料金などについて

上下水道部お客様サービス課 0773-22-6500

### 【募金関係】

日本赤十字会費について

福祉保健部地域医療課 0773-24-7087

赤い羽根募金について

福知山市社会福祉協議会 0773-22-3211

歳末助け合い活動について

福知山市社会福祉協議会 0773-22-3211

緑の募金について

農林商工部農林業振興課 0773-24-7047

## (9) 自治会活動保険制度について

自治会で行う清掃活動等の奉仕活動や行事等に参加中の方が、突発的な事故によってケガなどをされた場合等、様々な保険があります。

この中では自治会活動保険についてご案内いたします。

加入等の手続きは、単位自治会で加入となりますが、各学区自治会連合会としてまとめることで割引などの特典があります。

詳しい内容については、各保険会社にお問い合わせください。

## (10) 地域の課題や自治会運営について

地域の課題や、自治会運営の課題があれば、まず各地域(学区)の自治連合会で協議し、市や府などの行政機関への要望や、福知山市全体にわたる課題につきましては、市自治会長運営委員会等へ提起して頂きました上、運営委員連絡協議会で行政等と協議いたします。

毎年度7月頃までに御提案ください。





## 2 自治会長会等の組織について

### (1) 自治会長とは

福知山市が定めた単位区域(町内会など)ごとに、区域内の多数の住民により選出された代表者又はこれに準ずる者を自治会長(327自治会)と言う。

### (2) 各学区自治会長会(自治連合会)とは

旧村又は小学校区内にある自治会の連絡調整や地域の各種行事等の自治活動を行うため、各单位自治会長により構成される。

### (3) 福知山市自治会長会とは

福知山市自治会長会は、福知山市が、上記(1)により選出された各地区の自治会長に対し、その委嘱された事務に関し開く自治会長会議をさす。

### (4) 自治会長運営委員会とは

自治会長運営委員会は、自治会長に対する委嘱事務の円滑な運営及び自治会長相互の連絡調整を図る組織であり、委員は上記(2)の旧村又は小学校区単位にある自治会長会等(32団体)より選出される。

### (5) 自治会長運営委員連絡協議会とは

連絡協議会は、自治会長運営委員等の相互の連絡調整を行い、各地域の課題等を共有し、市行政の円滑な運営と自治振興発展に寄与する。委員は、自治会長運営委員より各中学校区などで選出された計10名により構成される。

## 市民憲章

### 幸せを生きる

わたしたちは、ふるさと福知山を“幸せの舞台”にします。

水清い由良川、緑濃い山々、行き交う人々。

生き生きとして、伸び伸びとしたふるさとをつくれます。

わたしたちは、ひとりひとりの中に

人生を自由で美しいものにする力を持っています。

そのわき出る力を集め、四季を愛し、命を尊び

共に幸せを生きます。

平成3年4月1日制定